

●●●● 平成20年度 大洲市中学生海外派遣事業 ●●●●



▲小学校での記念撮影

大洲市中学生海外派遣事業に参加して
 団長（大洲東中学校 校長） 矢野 正

平成20年7月28日から8月12日までの16日間、大洲市中学生海外派遣事業に団長として参加させていただきました。参加者は、各中学校から選出された派遣生徒12人と引率教員2人の14人です。

派遣先の学校は、オーストラリアの東に位置する、ゴールドコーストというところにありました。学年の構成は、ちょうど日本の小学校に幼稚園を加えたもので、1年生から7年生まででありました。生徒数は550名

でしたが、学校の規模としては小規模の学校ということでした。

学校での学習は、2回の軽食と休息の時間をはさみ3単位の時間割で、ゆったりとしたものでした。派遣生は、各学級に入っの授業もありましたが、派遣生12人だけの英語学習も毎日2回組んでもらっていました。その内容としては、ビーチを散策しながらの学習や日本宛に書いた葉書に切手を買って自分で貼り、ポストに入れる学習、アボリジニーなどのこの国の文化についての学習ほか、生活に沿った学習プログラムが多く取り入れられてありました。ですから、楽しく身に付く学習になっていました。また、学校を挙げてこの事業に取り組む姿勢に対して、非常にありがたく思いました。

約2週間で、英会話が身に付くまでには至らなかったと思いますが、自分の意思を英語で伝えるおもしろさと感動を皆感じたようでした。また、担任の先生方、ホームステイ先の家族、学校の生徒たちなど多くの出会いから、人の温かさを感じることができました。この派遣事業を通して、オーストラリアの良さを

知ることができましたが、日本の良さも改めて知る機会にもなりました。派遣生にとって、この貴重な経験が、これから生きていく上での大きな糧になったものと思います。

こういう機会を作っていただきました大洲市をはじめ、(財)榭山教育振興会に深く感謝申し上げる次第です。

平成20年度 大洲市中学生海外派遣日程

7月28日(月)	出発式、松山空港から関西空港を経由し、ブリスベンへ
7月29日(火)	ブリスベン着、ブリスベ市内研修受け入れ校ウエルカム会オリエンテーション、ホームステイ開始
7月30日(水)	大洲市中学生のための研修プログラム ・英会話クラス（午前×7日間） ・一般授業参加（午後×7日間） ・スポーツ ・文化交流 ・生徒間交流
↓	
8月8日(金)	・ホストファミリーとの交流 ・さよならパーティ
8月9日(土)	ホストファミリーと過ごす
8月10日(日)	ホストファミリーとお別れゴールドコースト市内研修
8月11日(月)	ブリスベンからシドニーを経由し、関西空港へ
8月12日(火)	関西空港から松山空港へ、帰国報告会



▲派遣先の小学校

大洲市中学生海外派遣事業

夏の思い出

大洲北中学校 土居 真子

「無理しないでね。あなたのしたいと思ったことをしなさい。」

緊張していた初日の夜、ホストマザーから言われたこと。この一言のおかげで、私はのびのびと元気に2週間を過ごすことができました。受け入れてくれたのはスミス夫妻。ゆっくり、そしてわかりやすい英語でいつも話してくれました。夕食は、オージービーフのステーキやピザ、カレーなどで白米を炊いているのを見た時はとても驚きました。

夕食後はオリンピックを見て楽しみました。日本で見る時とは全く違う角度で見ることができ、新鮮でした。休日にはお買い物に行き、レジの人と少しでも会話ができるとすごくうれしくて、もっともっと話せるようになりたい、という2つの気持ちがかみ上げてくるのを感じました。今回、この海外派遣事業に協力して下さった、たくさんの方に感謝をし、これからは国境を越え様々な事を学びたいと思います。



この海外派遣事業に協力して下さった、たくさんの方に感謝をし、これからは国境を越え様々な事を学びたいと思います。

オーストラリアでの貴重な経験を通して

大洲南中学校 紺田 紫織

私は、出発式の時に「積極的に英語で話す」という目標を立て、研修に臨みました。

オーストラリアでは、初めてのホームステイを体験しました。不安なことも多く、最初はとても緊張してあまり話すことができませんでした。でもホストファミリーが、大変親切にしてくれたので、日が経つごとに緊張もほぐれ、積極的に話すことができました。休日には、買い物や動物園そしてホストファミリーみんながやっている空手の練習場などに連れて行ってもらい、とても楽しく過ごしました。

また、現地の学校では4年生の子供たちと一緒に英語で授業を受け、楽しみながら英語を学びました。課外授業で行ったビーチはとてもきれいで感動しました。

わずか2週間ですが貴重な体験ばかりで、このような機会を与えていただいたことに感謝しています。このすばらしい体験を今後の学校生活に生かしていきたいです。



2週間のホームステイを終えて

大洲北中学校 長嶋 健二

オーストラリアへ行くときは長いと感じていた2週間のホームステイもあっという間に終わってしまいました。初日、バスに乗って出発し、国際線の飛行機に搭乗してもまだ自分が行けるという実感がわかず漠然とした感覚でしたが、初めて行く外国でいろいろな人と交流をし、実際に物を見たり聞いたりするうちにみんなと仲良くなることができました。

僕にとって一番楽しかったことは、休日にサーフアーズパラダイスのビーチで泳いだことです。一緒にホームステイをしていた田丸君やホストファミリーととてもよい思い出を作ることができ、本当に楽しかったです。

今回の海外派遣は僕にとって新しいことばかりで大変ではあったけど、それ以上に学校の友達やホストファミリーが優しく支えてくれたのでとてもよい



体験になりました。このような体験ができたのもお父さん、お母さん、それから多くの方々のご援助のおかげです。本当にありがとうございました。

“Thanks Australia”

大洲南中学校 田丸 翔太

僕にとって今回の海外派遣事業は、人生の宝物となりました。言葉も通じない、生活習慣の違う所へ飛び込んでいくのは、とても不安でした。しかし1日、2日と経つうちに、不安より楽しい事が多くなって、帰国する時には、もっといたいと思う気持ちでいっぱいでした。それは、毎日親切にしてくれたホストファミリー、明るく元気な学校のみならず先生方の沢山の笑顔に会えたからです。

今、ふる里大洲で様々な出来事を思い返しています。まず言葉では言えない大切な事を現地の方から学ぶことができました。「家族の有り難味」と「真の親切」この2つを、学校生活や人生の中で生かしていきます。そしてもっと勉強し、いつか必ず「第2の故郷」を訪ねたいと思っています。最後になりましたが僕たちに素晴らしい体験の場を与えていただきました、関係者の皆様、引率してくださいました先生、11人のみんな、そしてお父さん、お母さん、本当に有り難うございました。



きらきら輝く2週間

新谷中学校 松本 彩果

私は、海外派遣事業に参加して異国の文化にふれ、現地の人達と積極的に交流することができました。最初は私の英語レベルでコミュニケーションがとれるか不安でした。ですが、ホストファミリーや受け入れして下さった学校の先生や生徒のみなさんが、簡単な英語で話してくださり、嬉しかったです。この経験を終えて、英語に対する意識も変わり、楽しく素晴らしいものだと思えることができました。また、この事業にチャレンジできたことが、なにより大きな自信になりました。

この体験を無駄にはせず、一緒に参加した大洲市の友達や先生、オーストラリアの人たちとの出会いに感謝して、これからも生活していきたいと



思います。そして、このような機会を与えてくださったすべての方々に感謝します。“ありがとうございました”

海外派遣を終えて

平野中学校 門田 拓也

ブリスベン空港を出た瞬間、僕の見たことのない景色が広がっていた。そして、どんな楽しい2週間になるのだろうという期待でいっぱいになった。と同時に、ホームステイへの不安もこみ上げてきた。しかし、実際に会ってみると、陽気なとてもやさしい人たちだったので、すぐになじむことができた。

毎日通った学校では、みんな「タクヤ！」と言って仲良く接してくれた。休み時間にはみんなでサッカーをしたりして汗を流した。

家に帰ると、ホストファミリーとフットボールやクリケットをして遊んだ。また、みんな日本の文化に興味があるらしく、いろいろな質問をしてくれた。僕も箸の使い方や日本語など、一生懸命説明した。ホストマザーは「あなたは、私の子供と同じだから。」と言ってくれた。一番心に残っている出来事だ。

このようなすばらしい体験をすることができたのも、大洲市、そして桝山教育振興会のご支援のおかげだ。心から感謝している。



海外派遣研修を終えて

大洲東中学校 上岡 加奈

日本からオーストラリアに到着した時、半袖の私は、寒さに少し驚き、今から2週間大丈夫が少し不安になりました。また日本とは違う建物・風景・人種・言葉の違いに、異国を感じました。また私にとって外国は未知の世界だったので期待でワクワクしました。

私の研修の目的は3つありました。1つは、学生との交流で、たくさん友達ことができました。2つは、自分自身が消極的なので、英語の授業・学校行事などを積極的に体験するようにしました。3つは、将来の夢の保健師の仕事でそれは知ることができませんでした。

ホストファミリーは、休日にみんなで出かけたり、友達と誕生日パーティーをしたり、笑い声の絶えない家族でした。私は、温かい家族や友達のおかげでホームシックにならず、毎日楽しく過ごすことができました。



英語は、あまり上達できませんでしたが、思い出はいっぱいできました。ご支援ご協力していただいたみなさまお世話になりました。

海外派遣研修を終えて

肱東中学校 冨永 このみ

私は、約2週間海外派遣でオーストラリアに行きました。行く前は、自分の英語が伝わるか心配でしたが、実際にホストファミリーと生活すると、とても楽しくて、ジェスチャーを交えてたくさん会話することができました。

学校では、たくさん子どもたちと友達になりました。バディーの子をはじめ、先生方やクラスメートは、とても親切にしてくださいました。授業も充実していて楽しみながら英語を学ぶことができました。

私は、オーストラリアに行って、生活習慣や文化の違いだけでなく、たくさんの人々と触れあうことの大切さも学びました。そしてこの作文には、書ききれないほどの思い出を作ることができました。私は、一生に何度もない貴重な体験ができてとても嬉しいです。両親や大洲市の援助していただいた方には、とても感謝しています。この体験を今後の学習や生活に生かしていきたいです。



大洲市中学生海外派遣事業

海外派遣事業に参加して

肱川中学校 大野 沙織

今回の海外派遣事業に参加し、私は大きく成長することができました。多様な民族国家であるオーストラリアでの2週間は、驚きと感動の連続でした。

ホストファミリーと実際に生活していくと、自分の英語力のとぼしさが改めて分かり、不安になりました。でも、私が聞きとれない時は笑顔で何度も繰り返し話してくれたり、私のぎこちない英語を一生懸命理解しようとしてくれたり、温かい態度に私の不安はなくなっていました。受け入れ校の生徒たちは、会うと必ず挨拶をしてくれます。中には日本語で自己紹介してくれる生徒もいて感激しました。授業は机での学習だけではなく、ビーチやショッピングモールに行き、学ぶこともあり、楽しんで勉強することができました。

このような貴重な体験の場を与えていただきました皆様に感謝し、これからの生活に生かしていきたいと思っております。本当にありがとうございました。



オーストラリアでの思い出

長浜中学校 城ヶ瀬 諒子

私は、この夏休みに、オーストラリアへ行って、様々な貴重な体験をしました。オーストラリアの人は、日本人に比べて、とてもフレンドリーでした。学校でも、ホームステイ先の家でも、たくさん話しかけていただき、とてもうれしかったです。

日本とは違った習慣もたくさん発見しました。学校では昼ご飯の時間が2回あったり、昼ご飯に食べるものは、おかしが多かったりします。他にもたくさんの違いに驚きました。

ホームステイ先の家族は、本当に優しく、いつも私たちのことを気にしてくれて、毎日がとても楽しかったです。言葉は上手く伝えられなくても、十分なコミュニケーションをとることができたことを知りました。

私にとって、この体験は本当に素晴らしいものとなりました。この海外派遣に行かせていただいたたくさんの方々に感謝し、今回現地で出会った人たち、生活を共にした11人の仲間との思い出を、大事にしたいです。



心に残った海外派遣事業

河辺中学校 有友 正太

オーストラリアの学校では、パディのクラスに行き、授業をしたり、ビーチを歩いたり、買い物に行ったりしました。買い物は、初めてだったので、とまどいましたが、良い経験になりました。

学校に行って驚いたことは、授業時間が日本の学校と違って9時から学校が始まって、2回に分けて授業があり、その間に2回の昼食があったことです。昼食はリンゴ等でしたが、おいしかったです。学校ではとても楽しいことばかりでしたが、小学生と毎日休み時間にしたハンドボールが特に楽しかったです。

また休日には、ホストファミリーの方が毎日どこかに連れて行ってくれました。中でも動物園では、コアラやカンガルー等のオーストラリアを象徴する動物に触れることができ、感動しました。



今回の海外派遣事業で学んだり、体験したりしたことを、これからの生活に生かしていきたいと思っております。

海外派遣を終えて

長浜中学校 渡邊 希代

私が、この2週間で学んだこと。それは、異文化交流の良さです。オーストラリアに行って、不安でいっぱいだった私にたくさん話しかけてくれたり、学校では、わからない問題を教えてくれたりして、現地のみなさんの優しさを感じることができました。

また、生の英語を耳にすることで、発音のしかたなどを学ぶことができ、今までは苦手だった英語にも興味を持つことができ、もっと勉強したいと思うようになりました。

オーストラリアの文化を学ぶことで、改めて日本の良さを感じることができました。それだけではなく、日本の悪い所なども考えさせられました。

この2週間で、多くの事を学ぶことができました。このようなすばらしい体験ができたのも、家族の支えと、たくさんの支援をくださったみな様のおかげです。中学校最後の夏休みに最高の思い出ができました。ありがとうございました。



出 会 い の 旅

河辺中学校教諭 矢野香織



▲“ようこそ”というウェルカムボードをバックに

「見たこともない空の色、見たこともない海の色、見たこともない野を超えて、見たこともない人に会う」歌手の中島みゆきさんの「一期一会」という曲の冒頭の歌詞です。ライトブルーに輝く海、異国情緒溢れる建築物、さまざまな人種、ゆったりと流れる時間。

今振り返れば、私たちの16日間はまさに「出会い」の旅でありました。

真冬のオーストラリアの生活は本当に驚きと感動の連続でした。学校では、現地の先生による授業を受け、お昼ご飯は2回あり、授業時間は9時から3時までという短時間。家に帰ると土足での生活、食事は多国籍料理、満腹なのに食後の魅惑の甘いデザートを勧められる毎日。街を歩けば、気軽にあいさつを交わすフレンドリーな人たち。若い力みなぎる12名は行く先々で新しく出会うものすべてを吸収しようと目を輝かせ、一期一会の思いで毎日を過ごしました。けれども、華やかに見える生活の傍らに、望郷への思い、言いたいことが伝わらないもどかしさ、文化の違いなど言い知れぬ不安が15歳の背に重くのしかかっていたことも事実です。しかし、それを支えたものは、向こうで出会った新しい家族であり、学校の先生であり、新しくできた友人でありました。

やがてやってきた別れの日。「あなたは私の家族、あなたがいなくなることが本当に寂しい。」と言いながら、涙が止まらない生徒をずっと抱きしめるホストマザーの姿が忘れられません。最近受けとったメールによると、今もなおホストファミリーの間で12名の生徒の話が出ているそうです。

12日間の浅い縁ではありますが、12名は学校でも家庭でも地域でも強いきずなを築き、オーストラリアの地に確実に足跡を残してきました。

自分を成長させてくれた全ての「出会い」に感謝し、また自らの力で得た貴重な経験を大いに生かし、次代を担う明日のリーダーとなって、郷土の、そして我が国の発展に貢献できる人になってほしいと切に願います。



▲ショッピングセンターでお買い物中

この日参加したのは、建築士会大洲支部の会員約40人。訓練は、大洲市を震源とするマグニチュード7.0、震



▲模擬訓練で損壊状況を確認する参加者

大洲市では、東南海・南海地震により多くの建築物が被害を受けた場合、余震などによる建築物の倒壊や部材の落下などから生じる二次災害を防止し、市民の安全の確保を図るため、人が被災した建物に近づけるかどうか、またその建物の中にいれるかどうかなど、被害建築物の応急危険度判定作業を行います。この作業が、迅速にかつ円滑に進められるよう、この程県内で初めての模擬訓練を実施しました。

参加者は市役所でビデオ研修などの講習を受けた後、市内の市営住宅で、実際に模擬判定を行いました。二人一組で、建物の傾斜や基礎部分の損壊状況のほか、屋根瓦などが落ちてこないかなど、項目ごとにひとつひとつ確認し、それぞれ「危険」「要注意」などの危険度ステッカーを、入り口に貼っていきました。

地震被災建築物応急危険度判定の模擬訓練

8月30日(土)

被災した建物 大丈夫?!